

八甲田山の火山活動解説資料（平成 28 年 12 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

大川原及び地獄沼に設置している監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 3、図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

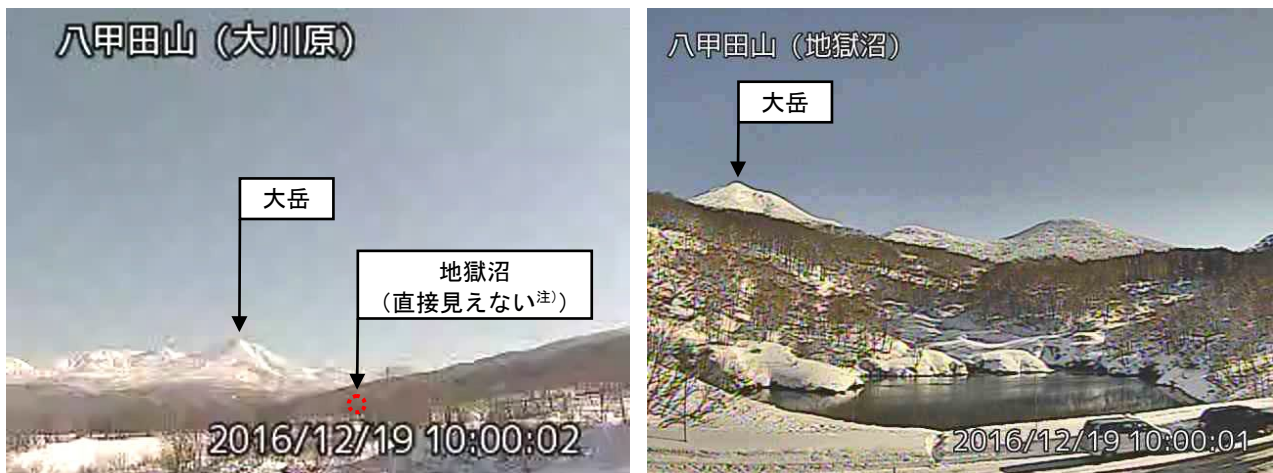


図 1 八甲田山 山頂部及び地獄沼周辺の状況（12 月 19 日）

・左図：大川原（大岳の西南西約 6 km）に設置している監視カメラの映像です。

・右図：地獄沼（地獄沼の西約 100m）に設置している監視カメラの映像です。

注）地獄沼から噴気が噴出した場合、大川原では高さ 100m 以上のときに観測されます。

点線赤丸が地獄沼の位置を示します。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 1 月分）は平成 29 年 2 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県のデータ等を利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

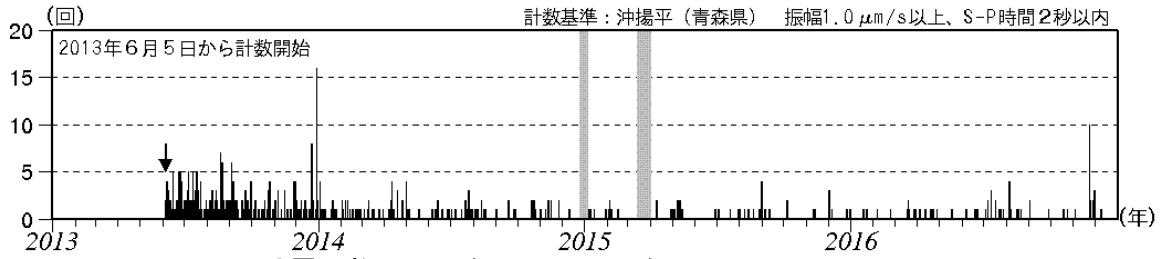


図2 八甲田山 日別地震回数 (2013年6月~2016年12月)

・灰色部分は欠測を表しています。

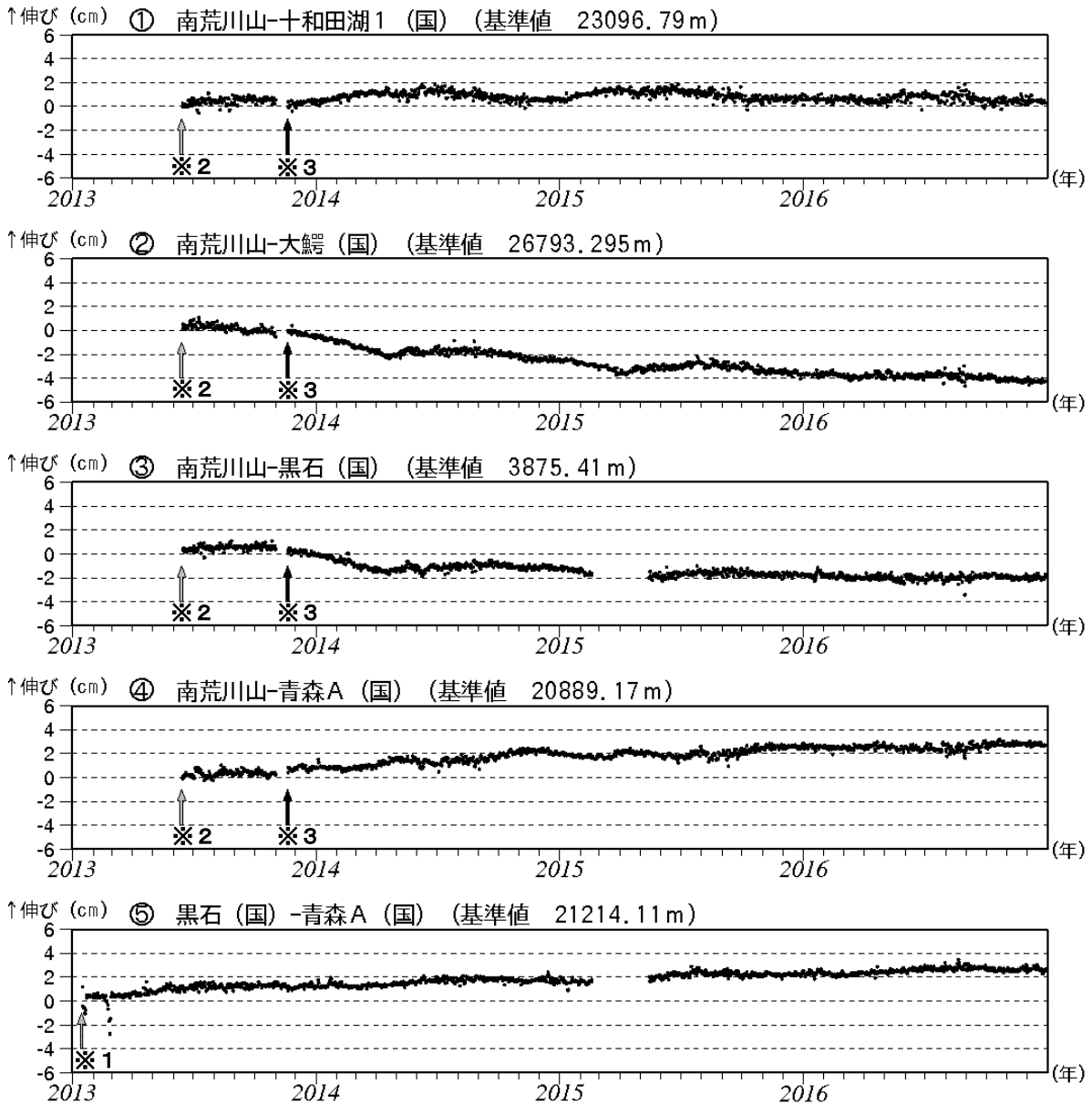


図3-1 八甲田山 GNSS¹⁾ 基線長変化図 (2013年1月~2016年12月)

1) GNSS とは Global Navigation Satellite Systems の略称で、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示します。

- ・空白部分は欠測を示します。
- ・①~⑤は図5のGNSS基線①~⑤に対応しています。
- ・各GNSS基線の各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

※1 2013年1月16日より解析を開始しています。

※2、3 南荒川山(臨時観測点)のデータは、2013年6月15日から11月1日まで現地収録していましたが、機器の移設・更新を行い11月19日からは常時テレメータ観測しています。図は基準値を補正して接続しています。

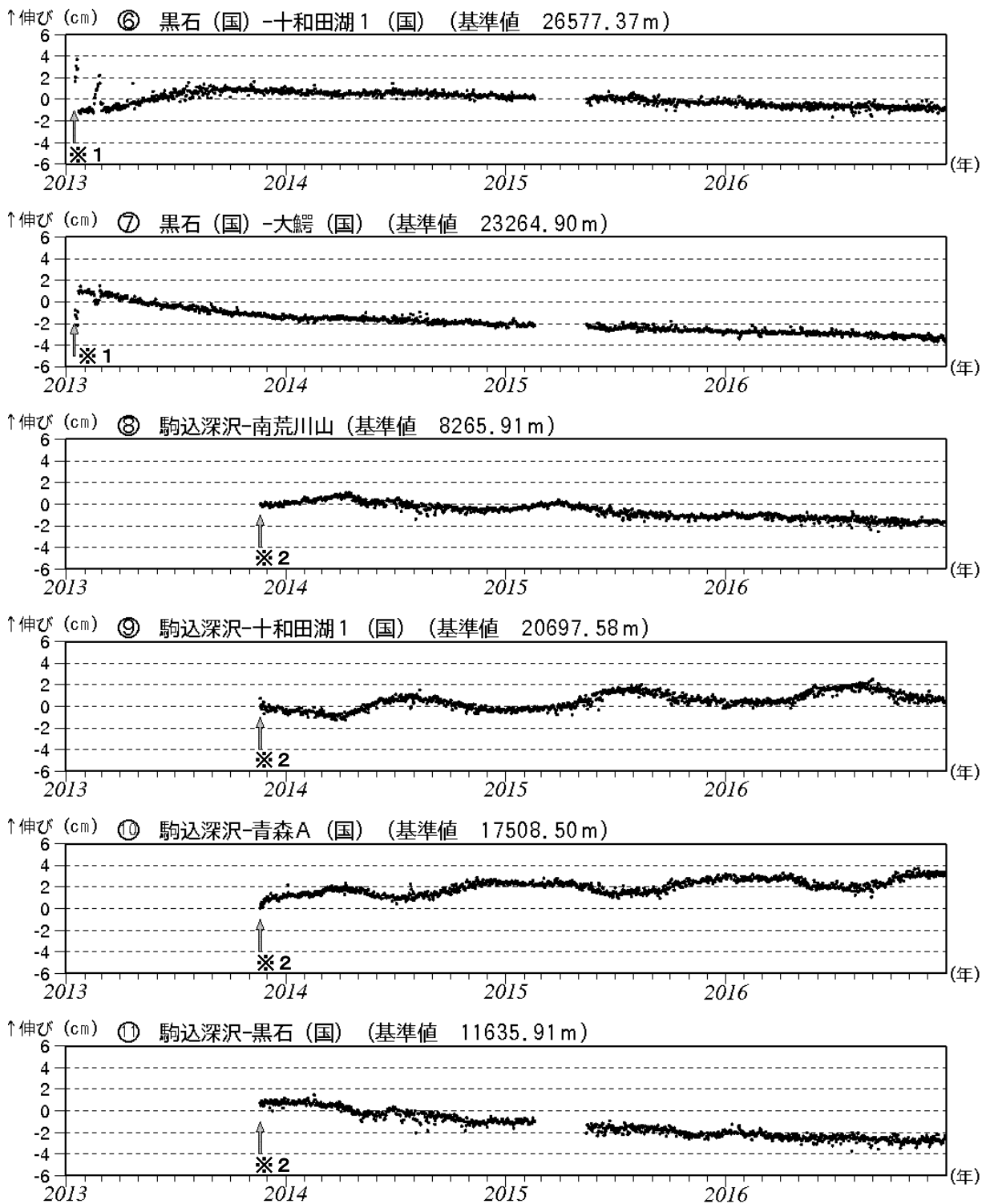


図3-2 八甲田山 GNSS 基線長変化図 (2013年1月~2016年12月)

- ・⑥~⑪は図5のGNSS基線⑥~⑪に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。

※1 2013年1月16日より解析を開始しています。

※2 駒込深沢観測点は2013年11月18日から解析を開始しました。

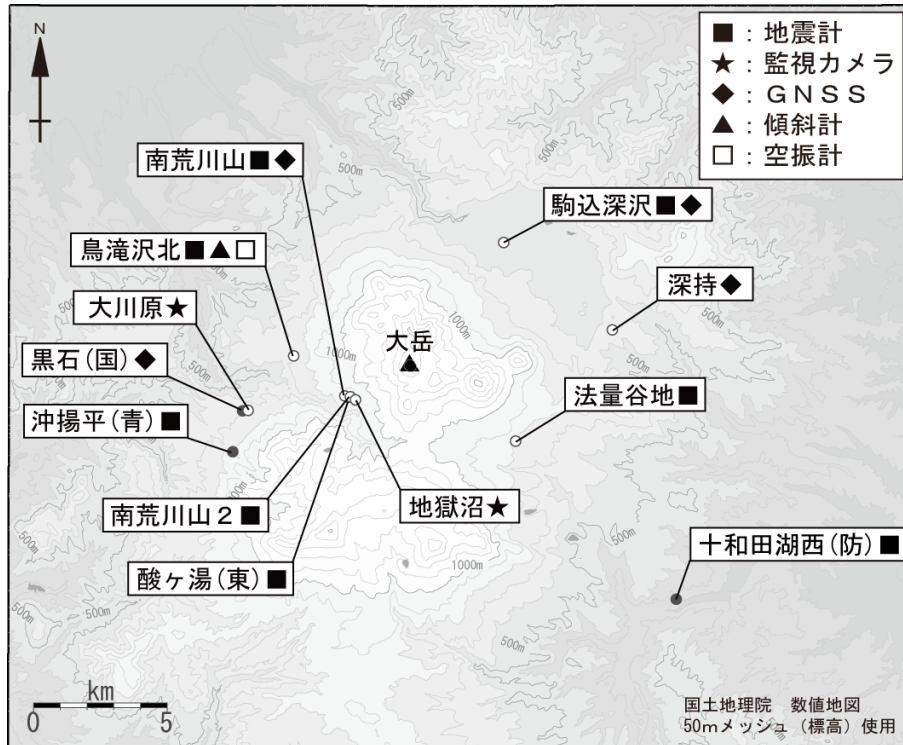


図4 八甲田山 観測点配置図

・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （国）：国土地理院 （青）：青森県

（防）：防災科学技術研究所

※鳥滝沢北、南荒川山2、大川原、地獄沼、深持：12月1日運用開始。

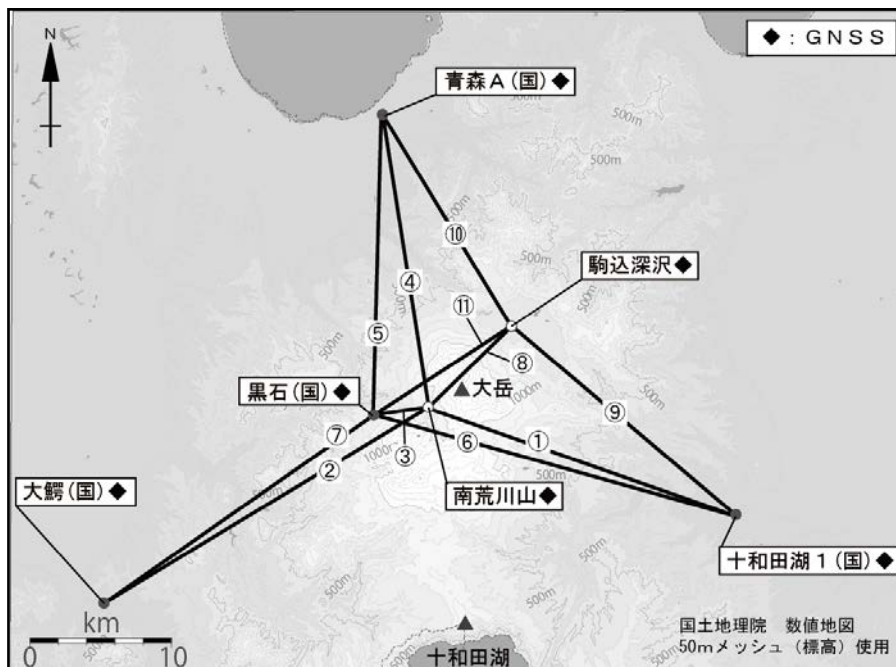


図5 八甲田山 GNSS 観測点配置図

・小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院